

# 労福協

労福協だより  
2009秋号  
静岡県労働者福祉協議会



## 川勝県知事に要請書を提出

平成21年度 対県要請

## 県労福協 第2回幹事会開催される

## よりよいサービスを目指して

勤労者共済会・SCの方向性検討研究会を設置

## 静岡求職者総合支援センター開設

災害ボランティアコーディネーター養成講座に参加して

## 第5回川柳募集

ライフサポーターしずおかの活動報告

## 地区労福協新会長の紹介

年金セミナーはじまる

## フードバンクってなーに？

# 【住宅の購入】を考えたなら 「住宅ローン」も 労金住宅ローン専用 「火災共済」の申込みも ろうきんへ



便利に  
なりました!

静岡県労働金庫は、全労済の共済代理店となり、  
「労金住宅ローン専用火災共済」の加入受付もできるようになりました。  
※労金共済代理店としての取扱共済制度は、「労金住宅ローン専用火災共済」のみとなります。

## 大事なマイホームの保障は 労金住宅ローン専用 火災共済

労金住宅ローン専用 火災共済は、  
ここが魅力です!

- 魅力その1 労金住宅ローン専用火災共済は、契約共済金額1,000万円(100口)で年間掛金6,000円(火災共済のみ、木造)。  
※全労済の一般の火災共済に比べ1口(10万円)あたりの掛金が10円安くなっています。
- 魅力その2 「住宅」と「家財」の両方、またはそれぞれについて火災共済のみか、地震・風水害などの保障を備えたい場合は自然災害共済を追加してご加入いただけます。
- 魅力その3 火災等による損害は、時価額ではなく、同程度のものを新たに購入・修復するために必要な※再取得価額で保障します。  
※再取得価額:全労済が定めた標準的価格となります。

## マイホームの夢の実現に! 住宅ローン、各種ローンのご相談はろうきんへ

毎週水曜日 夕方 県内(ろうきん)の全27営業店で開催中!

「平日の夕方の時間を利用して相談を…」というお客様のために

〈ろうきん〉全店OPEN! 毎週水曜日はローン相談デー

水曜よりみち相談会 17:00~19:00

ご予約不要 直接 各来店ください!

毎週日曜日 県内(ろうきん)の6ローンセンターで開催中!

「日曜にじっくり時間をかけて相談を…」というお客様のために

平日いそがしいあなたに。毎週日曜日はローン相談デー!

日曜のんびり相談会 9:00~12:00 13:00~16:00 毎週日曜開催

※いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

予約制です ご予約は 直接ローンセンターまたは 下記のフリーダイヤルまで

みなさまの暮らしのお役に立つ、(ろうきん)のローンです。

〈ろうきん〉  
マイホームの夢の実現に! 住宅ローン

全労済と労働金庫は、労働者自主福祉運動を担う協同組織として、さらなる労働者・生活者の福祉・利便性の向上を目指して、連携を強化してまいります。



お問い合わせ・ご予約は  
ヒボバ de ろうきん 携帯電話からでもOK!  
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00  
0120-609-123

保障のことなら 静岡県本部  
(静岡県労働者共済生活協同組合)  
〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-1180  
暮らしをトータルに見守る多彩な共済  
http://www.zenrosai.coop/shizuoka

検索サイトからもご覧いただけます。

静岡県労福協

検索

労福協だより | 2009 秋号

発行日/平成21年10月1日 発行所/静岡県労働者福祉協議会  
発行責任者/加藤 清 TEL054-221-6241 FAX054-273-3110

Eメール rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp

インターネットホームページ

http://www.s-cnet.ne.jp/~scn00855/



# 県労福協

## 第2回 幹事会開催される

8月25日午後1時から静岡県勤労者総合会館にて開催されました。協議事項は、以下の5点についてすべて承認されました。

- (1) 幹事の補充について
  - (2) 第60回勤労者総合美術展の取組みについて
  - (3) 地域・地区役員との意見交換会の開催について
  - (4) 勤労者共済会の方向性検討研究会の設置について
  - (5) 「仮(フードバンク静岡)設立検討委員会」の設置について
- 特に、「勤労者共済会の研究会」については、勤労者共済会(中小企業勤労者の福利厚生事業で県下17団体、約7万人加入)の今後のあり方について、県・共済会・自治体で構成する県連絡会議の研究会に、県・地区労福協も参画することになりました。また、「フードバンク設立検討委員会」は、連合・



【新幹事】全労済県本部 安久津正幸 氏

【新幹事】県勤協連 福井 豊 氏

COOP・ライフサポートセンター等7団体で調査研究検討を行うことになりました。

# より良いサービス提供を目指して

## 勤労者共済会・SCの方向性検討研究会を設置

中小企業勤労者福祉共済会およびサービスセンター(勤労者共済会SC)は静岡県内に17ヶ所設立がされ7万人弱の勤労者が会員として加入しています。設立は富士市の昭和59年は別格として、概ね平成初期から10年頃にかけて県下各地で設立、事業が開始されました。

- 中小零細の事業所に働く「勤労者」の福祉の向上を図るとともに、中小零細企業の振興、地域社会の活性化に寄与することを目的に設立されましたが、時代の変化に伴い「共済会・SC」を取り巻く環境も大きく変わってきました。
- ① 景気悪化による会員の減少
  - ② 行財政改革に伴う市町補助金の削減
  - ③ 法人団体では国庫補助の打ち切

りや公益法人制度改革への対応等々がこれから手立てを講じていかなければならない大きな問題です。「労福協」も設立に深く関わり、設立後の運営にも関わってきた経緯を考えればこれから問題の当事者の一人として対応していかなければなりません。

今回の提案の中で設置された「研究会」「ワーキンググループ」に「労福協」としてもメンバーを派遣していく事となりました。

これから具体的な議論が展開されて方向性が定まってくると思いますがその過程の「議論」がとても大事だと考えます。メンバーに加わる皆さんや中央労福協等の上部団体とも連携を密にしながより良い方向性を探っていきたいと考えます。(K)

## 平成21年度 対県要請

## 川勝平太知事に 県労福協の要請書を提出

8月26日、県労福協の平成21年度対県要請が県庁別館21階会議室で行われました。当日は、連合静岡の対県要請と合わせて実施され、県労福協からは平野会長と加藤事務局長が参加しました。冒頭、連合静岡と県労福協の両会長から主旨説明を含めた挨拶をした後、川勝知事にそれぞれの要望書を手渡し、加藤事務局長から労福協要望の7項目の説明を行いました。



### 〈平成21年度 要請項目〉

- 要請1 育児支援ローンの広報活動支援と同ローンに対する利子補給制度の創設を要請いたします。
- 要請2 就職安定資金融資制度等の利用者に対する経済的支援を要請いたします。
- 要請3 「ライフサポートセンターしずおか」に対する積極的行政支援を要請いたします。
- 要請4 県が実施しております「ライフプランセミナー事業」を、引き続き財団法人静岡県勤労者福祉基金協会へ事業委託を要請いたします。
- 要請5 静岡県ボランティア協会が開催する「災害ボランティアコーディネーター養成講座」「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」および、関係者の協力により設置した「東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会」に対して、引き続きの積極的な行政支援を要請いたします。また、継続的な事業開催に向け、静岡県として財政的な措置の検討を要請いたします。
- 要請6 静岡県「食の安全基本条例」の制定を求めます。
- 要請7 消費者行政活性化に向け、消費者団体への援助・育成の抜本的強化を求めます。

意見交換は限られた時間でしたが、川勝知事からは個々の要請項目に対する具体的な内容についての質問もあり、充実した要請の場となりました。



# 就業支援と生活支援 静岡求職者総合支援センターが開設される

国の緊急雇用創出事業として、就業支援と生活支援を総合的に1ヶ所で行う拠点が全国に設置されつつあり、静岡県内では沼津市・静岡市・浜松市に設置されました。この中の静岡市が設置した「静岡求職者総合支援センター」の運営業務をライフサポートセンターしずおかが受託し6月30日より業務を開始しました。生活支援をサポートセンター、就業支援をハローワークが担っています。

同センターは、JR清水駅近くの清水テルサ2階にあり、職員はハローワーク3名・サポートセンター3名・ポルトガル語通訳者1名(週1回)計7名です。

相談は1日平均20〜30件、中高年男性からの相談が多く、「仕事が見つからない」「生活費が底をついた」等、相談者は、「センターに来れば何とかある」という必死の思いで来所されます。相談員は、困っている方を何とか救えるよう様々な情報や制度を調べ提供しています。(M)



事務所の様子

相談時間：平日9:00〜17:00  
休館日：土・日・祝日・年末年始・  
毎月第2・4月曜日(祝日の場合は翌日)  
\*ポルトガル語通訳は、毎週水曜日在席  
電話相談：フリーダイヤル0120-150-368

(参考) 東部求職者総合支援センター：0120-939-549  
西部求職者総合支援センター：0120-930-946



# 地区労福協新会長の〈横顔〉

6～7月に県内24地区労福協の定期総会で5地区の新会長が誕生しました。新会長には、抱負や感動した事などをお伺いしました。

- ①氏名 ②年齢 (2009年10月1日現在)  
 ③出身組織名 役職  
 ④モットー  
 ⑤愛称・ニックネーム等  
 ⑥質問1 新会長の抱負に付いてお聞かせください。  
 質問2 最近、感動したこと・嬉しく思ったことについてお聞かせください。  
 質問3 「助け合い」から連想することは何でしょうか？  
 質問4 ご当地イチオシの〇〇を教えてください。

## 伊東・熱海地区労福協

- ツチャ シゲト  
 ① 土屋 成人  
 ② 42歳  
 ③ 東海自動車労働組合 執行委員長  
 ④ 組合組織の強化・充実  
 ⑤ 特になし  
 県私鉄の会議ではツッチーと呼ばれたりします。



- ⑥  
 Q1. 初心者ですが諸先輩方が築いてこられた労福協運動を継承し、伊東熱海地区労福協の発展のためがんばります。  
 Q2. 産別の大会で九州の阿蘇に立ち寄った際、その火口湖を見て自然の美しさに勝るものはないなぁと感じました。  
 Q3. 以前研修を受けた「ひとり」は万人のために、万人はひとりのために」という協同組合の精神を連想しました。  
 Q4. 組合事務所のある伊東や伊豆東海岸の珍味「めばう」です。イカの口を職人さんが一つ一つ干したものです。

## 袋井地区労福協

- タカハシ ケンジロウ  
 ① 高橋 謙二郎  
 ② 42歳  
 ③ パナソニック ホームアプライアンス労働組合 ランドリー支部静岡分会 分会長 兼 副支部執行委員長  
 ④ 日々・是・心がけ  
 ⑤ けんじろう  
 (現在も職場では名前と呼ばれることが多い。)



- ⑥  
 Q1. 「結果＝考え方×熱意×能力」に基づき、燃え尽きる熱意と突拍子もない考え方で楽しく引っ張って行きたい。  
 Q2. 今年5月に「海から多摩川あわせて 100kmマラソン」に往路・復路共に制覇して完全優勝したこと。  
 Q3. 心遣いや気配りに本物も偽物もないはずで、突き詰めれば「他人への思いやり」というものにぶつかる。  
 Q4. 袋井クラウンメロンマラソンはエコパスタジアムとメロン、森町ロードレースはお茶と治郎柿ワインを満喫。

## 賀茂地区労福協

- ソウマ カツミツ  
 ① 相馬 克光  
 ② 46歳  
 ③ 伊豆急行労働組合 執行委員長  
 ④ 夷陰一節 (いけんいっせつ)  
 ⑤ カッチャン  
 ⑥



- Q1. 伊豆地域における特性に対応し、地域に根付いた福祉活動をつうじ、なかまのくらしの向上をめざす。  
 Q2. ボランティア団体「遊VIVA!」に対し、文具等の支援をしたところ、思わぬ感謝の意が帰ってきたこと。  
 Q3. 厳しい今時代だからこそ、地域のなかまが「共助の心」を持った労福協運動を細かく広めていくこと。  
 Q4. ホテル伊豆急が、露天風呂・内風呂のリニューアルをしました。改めまして伊豆の白浜お待ちしております。

## 掛川地区労福協

- ヤマシタ サトシ  
 ① 山下 聡  
 ② 39歳  
 ③ ヤマハモーターパワープロダクツ労働組合 中央執行委員長  
 ④ 何事も前向きに考える  
 ⑤ やまちゃん



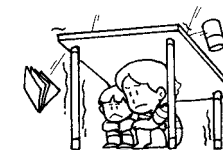
- ⑥  
 Q1. 安心できる福祉社会の実現を目指し、地域と連帯を深め勤労者の生活向上に取り組んでいきたいと思います。  
 Q2. 家族旅行で錦帯橋を渡ったこと  
 Q3. 人と人との信頼関係、やさしさ、いたわり  
 Q4. お茶

## 浜名地区労福協

- カワベ ヨシミツ  
 ① 河邊 洋充  
 ② 47歳  
 ③ スズキ労働組合 湖西支部 支部長  
 ④ 継続は力なり  
 ⑤ ベーちゃん  
 ⑥



- Q1. 勤労者の暮らしに役立つ福祉活動やボランティア活動を行い、健康で日々安定した生活を送るための支援を行う。  
 Q2. バイクが好きで、8月連休には東北～群馬をツーリングして来ました。各景観地には、感動いっぱいでした。  
 Q3. 「年末助け合い運動」  
 Q4. ・生産量日本一 コデマリ(バラ科)  
 ・県指定天然記念物 トキワマンサク群生地(日本で確認されている3箇所の内1箇所)



# 災害ボランティア コーディネーター 養成講座に参加して



県福祉基金協会等の主催による災害ボランティアコーディネーター養成講座があり、私は、8月8・22・23日の3日間、菊川会場に参加しました。8月11日には駿河湾地震があり当地・菊川市内でも被害が多発したこともあり身近に感じられる研修となりました。

カリキュラムは、①東海地震を想定した避難所運営ゲーム、②必要な人に必要な支援が届くために、③被災者中心のボランティアとは、④災害ボランティア本部とボランティアコーディネーターの役割など、盛り沢山でした。

県ボランティア協会等の各講師の経験に基づく話も説得力があり、グループワークでは毎回メンバーの組み換えで右往左往しながらの研修となり、時間を感

じさせない研修でした。

言われて久しいのですが、家の耐震化と家具の固定、家族の安全と安否の確認方法、近隣の助け合いと弱者への配慮、被災者とのコミュニケーション、誰かの為に役立ちたい気持ちの大切さ、求めている支援とボランティアのギャップなどなど多くを学びました。ボランティアも余り経験の無い私ですが、ここでも「助け合い」の重要性を改めて認識したところ

です。

最後に、困るモノとして「お金」の話がでました。災害時に通帳等を無くしたときはどうするのか、住宅再建の支援は有るのかなど、労金(きずな)全労済(自然災害共済)等の活動が浮かんできます。

(K・T)

# 第5回川柳募集はじまる!

退福協／ろうきんグリーン友の会

お題の「包む」から連想し、5・7・5のリズムにのせて一句詠んでみませんか。たくさんの応募をお待ちしております。ただし、真ん中の七文字だけは守ってくださいね。

募集期間	・2009年11月1日～11月30日
応募規定	・一人一首で未発表のものに限ります。
応募方法	左記備え付けの応募用紙に記入し、応募箱に投函してください
賞と賞品	・静岡県労働金庫本支店 ・静岡県労働者福祉協議会・連合静岡 ・全労済静岡県本部 ・ライフサポートセンターしずおか各事務所
最優秀賞	・1点、優秀賞・5点、佳作・数点、入選・数点
正に審査いたします。	・入賞者には豪華な賞品があります。(最優秀賞には1万円相当の商品券など)
入選作品の著作権は、『ろうきんグリーン友の会県連絡会』『静岡県退職者福祉協議会』に帰属します。	
お問い合わせ先	ろうきんグリーン友の会県連絡会事務局 静岡県退職者福祉協議会事務局(担当 野村)
TEL	054(275)1388
FAX	054(275)1377

